片周

平成27年 9月25日

第3号 矢板市立片岡小学校



進んで学び考える子ども 思いやりのある子ども 元気でねばり強い子ども



ならぬことはならぬものです

秋分の日が過ぎ、急に秋めいてきました。

去年の夏、会津に行きました。江戸時代の会津藩に「日新館」 という藩士の師弟が学ぶ学校(藩校)がありました。会津藩では、 町内の区域を「辺」という単位に分け、辺をさらに「汁(じゅ

う)」という藩士のグループに分けました。汁では「汁長」というリーダーが選ばれました。汁長は毎日、汁の構成員の家の座敷を借り、汁の構成

員に「汁の掟」を訓示しました。この「汁の掟」は日新館に入学する前の子どもたちが身 に付けるべき「人としての心が構え」だったそうです。

- 年長者の言うことには背いてはなりませぬ
- 年長者にはお辞儀をしなければなりませぬ
- 汁 {三 虚言を言うことはなりませぬ
- の }四 卑怯な振る舞いをしてはなりませぬ
- 掟 (五 弱い者をいじめてはなりませぬ
 - 六 戸外で物を食べてはなりませぬ
 - 七 戸外で婦人と言葉を交えてはなりませぬ ならぬことはならぬものです



私たちがよりよい社会を実現していくためには正義を愛する気持ちが大切です。しかし、 正義を妨げるものに、人々の偏見や差別、不正な行為があります。今、改めて私たちはい じめなどの不正な行為を絶対許さないという態度が強く求められています。

最近では、携帯電話やパソコンからインターネットに接続し、情報の収集や発信を行うことが容易になっています。ネット上で軽い気持ちで書き込んだ言葉が友だちの人権を侵害することもあります。また、何かと「理由」が重視される傾向がありますが、「ならぬことはならぬものです」という強い信念と毅然とした態度が、今、私たちには必要なのではないでしょうか。

そして、児童一人一人がお互いの個性を認め合い、思いやりの心をもって生活してほしいと願っています。保護者の皆様、地域の皆様、子どもたちに自分と他者を大切にし尊重し、社会のルールを守り行動する態度を育てていきましょう。



がんばった 運動会

「負けないで 優勝というゴールは すぐそこ」 のスローガンのもと、長雨で十分な練習ができ

ず迎えた運動会。しかし、児童一人一人が、競技・演技・係の仕事・応援に全力で打ち込んだ運動会でした。児童のみなさんの一生懸命な姿や

意気込みに感心し、一丸となって運動会を成功させてみせるぞというみんなの熱き思いに 感動しました。保護者の皆様には、前日及び当日の準備等の御協力に感謝いたします。





運動会当日、学校周辺の歩道に違法駐車したり、歩行者や自転車等の通行を妨げる駐車をしたりして、近隣の方から苦情の電話が運動会進行中にあったり、警察官が

本部テントまで注意を促しに来たりと、慌ただしい対応でした。

また、先日は、地域住民の方から、お迎えの路上駐車の車のエンジン音がうるさい、排気ガスが臭う、駐車が事故を招きかねない等の苦情が、学校・市の教育委員会にありました。9月18日付で「下校児童の自家用車による迎えについてのお願い」を配布しました。御理解の上、御協力お願いします。



成績はどのように決まるんだろう!?

通知表は、この1学期、6ヶ月間の児童の学習の記録であり、児童が歩んだ記録です。現在の評価は、「絶対評価」であり、各教科が設定した目標に達しているかどうかで評価する「目標に準拠した評

価」です。人数がある程度決まっていた「相対評価」とは異なり、頑張った結果がそのまま反映されます。

通知表の学習の様子の欄には、①基礎的な知識・技能の習得、②知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力、③学習意欲(主体的に学習に取り組む態度)の学力の視点から見たお子さんの状況を記載してあります。「よかった、悪かった」とだけ、見るのではなく、どの教科のどんな学力でお子さんの力が発揮されたのか、どんな成績が上がったのかなど、お子さんの努力の様子をご確認ください。また、生活の様子では、あいさつや、後始末などの基本的な生活習慣、人と自然との関わり方、約束や決まりを守っているか、仕事への取り組みなどの面から評価し記載しています。生活の状況は学習面での意欲や成果につながる大切な要素です。

たくさんほめられたお子さんは、人のよさにも気づき、人を認める子 ×34 どもに育っていくのではないでしょうか。通知表をひとつのきっかけと して、学校生活についてお子さんと会話を交わす機会とし、学習面、行 動面のよさを認め励ます機会にしていただきたいと考えております。



学 校 訪 間

10月27日(火)に学校訪問があります。前回は3年前でした。学校訪問は、県教育委員会が、教育行政努力目標達成のため、学校教育全般にわ

たり学校の実態に即して、直接、指導・助言や研究協議を行うことによっ て、より充実した学校教育の実現を目指す指導行政上の重要な施策の一つとされています。

携帯電話・スマートホンについてのアンケート結果

遅くなってしまいましたが、アンケートの結果をお知らせします。紙面の関係でホームページに掲載しましたのでご覧ください。(9月25日付け)多くの児童が利用しているのが本校の現状です。御家庭での使用が大部分を占めているかと思います。御家庭で長所や短所を十分話し合い、お子さんの使用の仕方を決めるなどお願いいたします。